

日本工学会科学技術人材育成コンソーシアム
2025年度第3回コンソーシアム会議 議事録 R1

日 時： 2025年12月12(金) 10:00～11:50

場 所： Zoom ミーティング

出席者：(敬称略) 出席者下線

ゲスト：古谷茂也殿(JSPE 会長)，川村武也殿(JSPE 副会長)，泉山浩郎殿(JSPE 監事)

代 表：廣瀬壯一 副代表：山本誠(部会3)

幹 事：白旗弘実(部会1)，湯地敏史(部会2)，伊藤宏幸，宮川和芳，高橋桂子

委 員：結城義敬、久保田寿夫、田中皓介，高橋章浩、岩附信行、

中澤浩介、三田清文、新宮清志、細澤治，吹春寛、後藤まどか、井上裕嗣

オブザーバ：對崎真楠、今井悠一郎、大儀健一、加藤修

協力員：山口愛

維持員：石田好輝，最上公彦，森田勉

顧 問：有信睦弘、松瀬貢規，岸本喜久雄

事務局：竹内章晃

議 題： (順不同)

1. 話題提供 日米エンジニア交流と社会課題解決について(日本プロフェッショナルエンジニア協会：JSPE)
2. 2025年度第2回(8/321)コンソーシアム会議議事録確認
3. 各部会報告
4. 今後の活動について
5. その他

配布資料：

0-1：2025年度科学技術人材育成コンソーシアム役員・委員名簿

1：2025年度第2回コンソーシアム会議(2025/8/21)議事録(案)

議 事：

1. 「日米エンジニア交流と社会課題解決について」について(話題提供)

日本プロフェッショナルエンジニアリング協会(JSPE)は、2000年に設立されたが、1990年代半ばに日本国内の米国のPE資格者が集まってできたものである。オレゴン、ワシントン州のPE資格を有している会員が多い。分野としては、機械、土木、電気、化学の割合が高い。海外での経験、知見を何らかの形で、日本でいかしたいと考えている。海外のエンジニア制度と日本の技術者制度との違いはあると思われる。

日米エンジニア交流に関連して、今後はテーマを決めたディスカッションなども行えればと考えている。空き家問題を例に日米の差異について議論がなされた。米国の「テクノロジスト」「エンジニア」「アーキテクト」と日本語の「技術者」「工学者」「建築士」は互いの訳語ではあるが、概念が相互に入っていて、1対1には結びつかない。日本の技術者は、どちらかというところ「ものづくり」主体だが、米国PEは「まちづくり」の側面が強いようである。

C アーキテクトとエンジニアの区分けが面白いと思った。工程段階でみたときに構想段階がアーキテクト、施工段階がエンジニアと思う。分野分類の表では建築がなかったように思うが。

A 米国では Civil でも建築を扱っているのだからそこに含まれていると思う。

C JSPE は人材育成において、海外と日本の働き方の違いなどをよくご存じであるので、日本工学会としても非常に参考になることが多い。日本工学会のイベントなどに参加していただきたい。会員の特性などいろいろ聞きたいと考えている。

A ぜひとも参加、協力していきたいと考えている。

C 世界エンジニアリングデーの第一部のフォーラムでトピックに関連する方がいるので協力していただきたい。廣瀬代表がモデレートするので、今後も相談させていただきたい。

2. コンソーシアム議事録確認

前回の議事録案を承認した。

3. 各部会報告

各部会から活動報告があった。

第一部会：これまで同様の活動を行っている。

第二部会：これまで同様の活動を行っている。新しく活動しようと思っているが、どのようにすればよいのか相談させてほしい旨の申し出があり、役員の中で議論することとした。

第三部会：世界エンジニアリングデーに向けて準備をしている。

4. 今後の予定

コンソーシアムの来年度の予定を策定する時期になってきている。毎年メール審議としているので年明けにそのようにする。素案を廣瀬代表が作成するので、後日承認していただくことになるかと思う。次回の会議は4~6月の予定である。

以上